日本共産党市議会議員　塩原孝子　第12号　2022年1月発行



たか子のあったか通信

発行責任者：塩原孝子　連絡先:松本市寿北5-15-27　Email：takako092@outlook.jp　☎0263-27-1122（共産党）

本気でジェンダー平等にとりくむ政治をつくります。
子育て世代のみなさんと共に新しい時代を



3人の懇談記事は3ページをご覧ください。

新年をむかえてご挨拶



明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスとの闘いが二年余り続いて命や暮らしが脅かされる日々ですが、今年こそコロナ感染対策と暮らしへの保障対策をしっかりと行い、安心して過ごせる毎日になってくれることを期待します。

昨年は総選挙があり、みなさまの願い「市民と野党の共闘」が実現し野党の議席を伸ばして頂きました。さらに野党共闘の力を前進させ、今年の夏に行われる参議院選挙で勝利していのちと暮らしを大事にする政治に切り替えていきたいと思います。

日々の生活と政治は密着しています。憲法9条を守る平和な社会、子どもから高齢者まで誰もが平等で安心して暮らせる社会の実現に向けて引き続きがんばって参ります。

本年もよろしくお願いいたします。

塩原孝子

活動日誌

灯油もガソリンも高値・・暮らしと営業を守りたい
福祉灯油一万円実現

共産党市議団は原油価格高騰から暮らしと営業を守るための申し入れを行い実現しました。

支給対象は生活保護世帯、住民税非課税世帯のうち、①75歳以上のみの世帯②要介護4・5の方が含まれる世帯③重度障がい者の含まれる世帯④母子・父子世帯です。



保護司会との懇談

議員交流部会で初めて保護司会の皆さんと懇談をしました。

再犯防止や日々の相談場所の確保に大変ご苦労されていることが分かりました。



街頭で国政への要望を聞く
武田参院議員とシール投票活動

イオン前で武田参院議員と一緒に「国政へのみなさんの声を開かせて下さい。」とシールアンケートを行いました。

学生さんから「是非学費を無料にして欲しい。」等の声が多く寄せられました。



2回目並柳団地集会所で「秋のつどい」開催

2回目となる並柳団地集会所で行われた「秋のつどい」は、地域の子ども食堂やホットライン信州のみなさんとも連携し、食料・生理用品などの提供を行いました。



ほっとひといきコーナー

Youtube動画を見ながら「夜寝る前のヨガ」を毎日やり始めました。

ヨガは日常のストレス、緊張をほぐして心身ともリラックスできて、寝つきが良いだけでなく睡眠の質も良くなるそうです。わずか15分位ですが、自律神経が整い、よく眠れるようになりました。

協立病院の「健康友の会」のウオーキングにも参加しました。準備運動をしっかり行った後のウオーキングは身体が軽くなり、とても歩きやすくなりました。健康づくり大事ですね。



暮らしの相談から

●外国人労働者の方からの相談が相次ぎました。「明日から来なくていいと言われ困った」、「肘を酷使して痛めて働けなくなった」などの相談がありました。日本語が十分喋れない、書けない等のため職場で不適切な対応をされていることが分かりました。また制度利用のためにわかりやすい説明も必要でした。全日本建設交運一般労働組合（建交労）や人権共生課、生活保護課と連携し問題解決の支援をしました。

●コロナ禍で「アルバイトが無くなり仕事を探しているが見つからなくて困っている」という若者から相談がありました。社会福祉協議会の緊急小口資金申請の支援をしました。

●インターネットでのサブリメント契約でトラブルがあり、多額の金額を要求されて困ったという相談があり、消費生活センターにつなぎ解決が出来ました。



12月会議 一般質問

虐待を続けた動物取扱業者の指導を



市内で起きた動物取扱業者の動物虐待に市民は心を痛めました。市の保健所の適切な対応が求められました。市内79事業者に早急に立ち入り検査体制を求めます。

人と動物が共生できる条例制定を求めます。

〔市の答弁〕全ての事業所を年度内に立ち入り検査を行う予定。動物愛護管理員は現在5名、今後の業務量を踏まえ適正職員配置を検討。条例制定は考えていない。

車を持っていても生活保護を受ける権利



動物取扱業者の悪質さもさることながら行政の長年の不作為は目に余る。外部からの圧でようやく事件化できたが、その後の対応もお粗末。1000匹のうち21頭のみ保護、残りは不意打ちで埼玉の業者がすべて運び出してしまった。市は確認できないと全容は不明。

所詮犬猫の問題と片づけたいのかもしれないが、動物虐待を長年見逃してきた、という長野県と松本市の責任は大きい。真摯な対応と斬新な改革を願いたい。

ペンネームねこひな

生活保護申請の壁になっているのは「車の保有を認めない」こと。通院、通学、通勤で認められる場合がありますが、松本市は他市に比べ極端に少ない。適正な対応を。

〔市の答弁〕今年度56件の保有希望があり認めたのは3件、市のホームページに車を保有しても申請できることを記載したい。

生活保護医療に差別的扱いの是正を



令和2年度の生活保護の決算が主に医療扶助の減により1億4千万円余減となっています。こうした中、訪問診療を通院指導される等医療受給権を侵害される差別的扱いの事例が出ています。是正を求めます。

今回の改定で、安心した老後の生活を送るために蓄えてきた預貯金が奪われる事態となり、協立福祉会では実態把握のため、調査を行いました。みなさん、不測の事態に備えた貯蓄ができず、不安を抱えて生活を送っています。誰もが安心した老後を送ることができる様、補足給付の見直しを求めます。

あずみの里　相談員上條

介護保険の利用負担増、市の支援を



介護保険では収入の少ない人に補足給付が行われていました。8月から収入・貯金の要件が厳しくなり負担増となった人がいます。例えば年金120万円、貯金500万円を超えると一日の食費負担が650円から1300円になります。市独自の支援を求めます。

〔市の答弁〕利用料は自己負担原則で独自の支援は考えていない。

塩原市議一般質問までの奮闘



市民の暮らしの相談活動に奔走（車を持っていても生活保護申請できますか？）



市の窓口に一緒に出向き交渉、塩原市議の即対応力は抜群



市民生活を守るため市政の改善を目指し始動。全国、県の動きや法制度など調査



一般質問にむけて担当課に市民生活向上、改善を求め回答準備をさせる。ここが正念場でもある。



一般質問当日傍聴する市民の期待を背に暮らし優先の市政改善に向けて登壇

子育て真っただ中の工藤さんとTさんをお招きして塩原市議とジェンダー平等問題、女性の自立など思いを語っていただきました。

塩原市議　私は、38年間保育士、ケアマネと福祉の仕事をしてきました。仕事と子育てに追われあっという間でした。仕事と子育て共に女性の負担は大きく、子育てにお金もかかる大変な時代ですね。若い世代のみなさんが輝く生き方ができるよう応援したいと思います。

ぜひ、率直なご意見を聞かせてください。

工藤さん　私は、1歳の子どもを子育て中です。24時間子どもと一緒で煮詰まってしまうこともあります。一時保育、ファミリーサポートなどがもっと利用しやすい子育て支援を望んでいます。保育士の資格を生かして4月には再就職を目指し保育所入所申請をしたばかりです。「もう働くの！」という否定的な声もあったり、就職面接にも子どもの預け先がをすぐに見つからず保育環境は十分ではないですね。

子育て応援 もっと充実を

Tさん　私は、今、二人目の子どもの育休中です。

キャリアアップを支える保育を

私の職場は勤務年数が基本給アップに繋がるので1歳で保育所に預けて職場復帰の予定です。子どもが成長した時の経済的な安定は必要だと思います。さらに資格取得してキャリアアップを目指したいです。

今の保育制度はフルタイムで働こうとする女性を支えるようになっていない。保育標準時間は8時から4時半までで保育時間に合わせてパートの仕事を探し、夫の扶養に入る選択をする女性が多いのでは。自分のやりたい仕事を諦めざるを得ない女性が多いのはとても残念です。

工藤さん　労働時間も大切だと思います。私の周りにパートナーが毎日夜8時帰宅で育児も全て女性の負担になっている家庭があります。残業が当たり前でやっと生活できる賃金なんておかしいですよね。

岸田首相は女性が担っているケア労働の賃金を9千円アップすると宣伝してますが一桁額が違います。

8時間働いて暮せる賃金を・男女格差をなくして

塩原市議　そうですね。40年間働くと日本の女性の賃金は男性と比べてざっと一億円の差があると言われています。今、選択的夫婦別姓問題が国会でも議論されていますがどうですか。

誰もが輝き自立をめざせる社会を





工藤さん　夫婦別姓の問題は50年も前から問題になっているのにいまだに実現できていない。パートナーは私の姓を選択して周りから否定的なことを言われて大変でした。私は経済的に自立することでお金から生まれる人間関係の歪みを減らし、自分とパートナーが共に自由に生きられる社会を目指したいと思います。

私たちはもっと自由で自立できる時代を求めて

Tさん　夫婦別姓も含め選択の自由が大事。若い世代はそんなにこだわっていない。もうそんな時代じゃないですよ。大事なのは平等・自立の保障です。

私は、子どもの貧困問題にとても関心を持っています。考えていきたいです。

塩原市議　長い間の市民の運動が実り4月から18歳までの医療費窓口無料が実現しました。松工高生との懇談では生理用品提供を利用しやすいように駅のトイレや学校のトイレに置いて欲しいという意見がありました。

ジェンダー平等や女性の自立のために政治が取り組むことはたくさんあると思います。一緒に声を挙げていきましょう。

今日は若いみなさんの前向きでエネルギー溢れる話をお聞きできました。ありがとうございました。